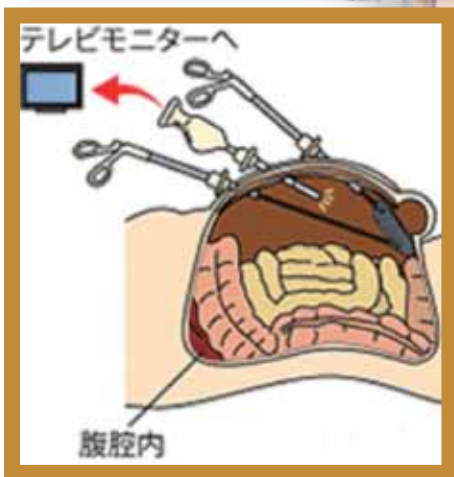
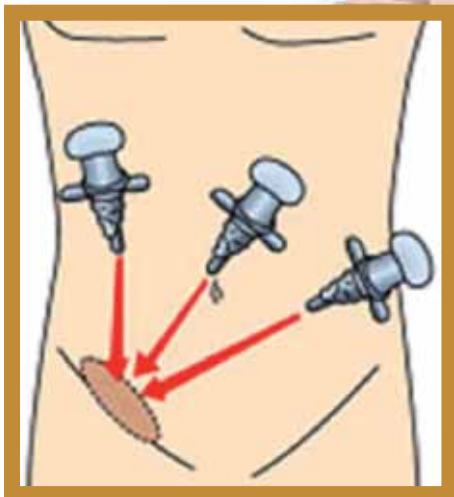


ソケイヘルニア(脱腸)にも 腹腔鏡手術を導入しています



外科 谷川 航平



外科領域で最も頻度の高い疾患の一つにソケイヘルニアがあります。

ソケイヘルニアとは、一般的に“脱腸”と言われている病気です。年を重ねたり、腹圧のかかる運動を繰り返したりすることにより、お腹の壁にできた隙間から小腸、大腸などの内臓が飛び出してきて起こります。ソケイヘルニアを根治させるためには、現在のところ手術以外に方法がありません。

ソケイヘルニアの手術には大まかに腹腔鏡を用いた方法と、用いない方法(従来法)があります。数年前まではソケイヘルニアの手術のほとんどは、腹腔鏡を用いず、腸が出てくる隙間の真上の皮膚を5cm程度切って、腸が飛び出してくる出口(穴)を見つけ、メッシュと呼ばれる補強具を縫い付けて、蓋をするという方法でした。しかし、最近は腹腔鏡を用いて、お腹の内側の方から手術を行い、腸が飛び出す入口側を補強する方法に徐々にシフトしてきています。現在では日本でのソケイヘルニア手術において、腹腔鏡手術が占める割合は4分の1程度まで増えてきており、当院でも適応のある方には腹腔鏡手術を積極的に施行しております。その理由は、全身麻酔に耐えうる方であれば、腹腔鏡手術の方に多くのメリットがあるからです。

<腹腔鏡手術の主なメリット>

- ①手術翌日に退院可能
- ②傷が小さく、目立ちにくい
- ③術後の痛みが軽度
- ④術後の運動や生活の制限がなく、退院後すぐに社会復帰可能
- ⑤大きいメッシュで補強でき、再発率低下につながる
- ⑥左右両側例でも同じ傷で手術可能

ソケイヘルニアでお悩みの方は、当院では従来法と腹腔鏡手術のどちらにも対応できますので、是非一度ご相談ください。

チェック

「看護の日」開催

日時：平成29年5月13日(土)
10:00~15:00

場所：明石医療センター 1階受付エントランス

内容：心肺蘇生ってなに？(子供バージョン)
白衣の試着もあるよ！
体験コーナー(介護・妊婦体験・血圧測定等)
心ばかりのプレゼントもありますので、多数の皆さま
のご参加をお待ちしております。

チェック

外来診療担当のご案内

4月1日より外来診療担当が変更となります。
詳しくは、院内掲示またはホームページにてご確認ください。

【HP】<http://www.amc1.jp>